



新たな地震被害想定について

このことについて、県から公表がありましたので、次のとおり概要をお知らせします。

1 経緯

- (1) 令和7年3月31日、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループが、国的新被害想定を公表
- (2) 令和7年10月31日、広島県が「広島県地震被害想定調査結果（概要版）」を公表
11月14日、「広島県地震被害想定調査報告書（全文）」を公表

2 呉市における南海トラフ地震の被害想定

（今後30年以内の発生確率：60～90%程度以上）

	平成25年	令和7年	備考
最大震度	震度6弱	震度6弱	
津波最高水位	3.6m	3.7m	
浸水想定区域	1,218ha	1,036ha	浸水深1cm以上
最大波到達時間	240分	241分	
死者数	429人	389人	約1割減
災害関連死	—	79～158人	
全壊焼失棟数	5,529棟	3,501棟	
半壊棟数	19,351棟	20,918棟	
電力（停電）	5,007軒	1,997軒	
断水	185,200人	39,096人	
情報通信（不通）	3,325回線	761回線	
避難者数（避難所）	29,548人	20,072人	
（避難所外）	15,941人	12,053人	

3 呉市内への影響が大きい、その他の主要な地震の被害想定

- (1) 安芸灘～伊予灘～豊後水道地震（今後30年以内の発生確率：40%）

	平成25年	令和7年	備考
最大震度	震度6強	震度6強	
津波最高水位	2.9m	3.1m	
浸水想定区域	766ha	616ha	浸水深1cm以上
死者数	620人	550人	
災害関連死	—	102～205人	
全壊焼失棟数	5,626棟	6,019棟	

半壊棟数	24,444 棟	27,488 棟	
電力（停電）	13,513 軒	2,386 軒	
断水	171,092 人	85,258 人	
情報通信（不通）	8,864 回線	932 回線	
避難者数（避難所）	24,766 人	24,667 人	
（避難所外）	13,792 人	15,746 人	

※ 平均発生間隔：60.4年（前回の芸予地震から24年経過）

(2) 安芸灘断層地震（今後30年以内の発生確率：0.1～10%）

	平成25年	令和7年	備考
最大震度	震度6弱	震度6弱	
津波最高水位	2.0m	—	※現時点未公表
浸水想定区域	246ha	160ha	浸水深1cm以上
死者数	62人	420人	
災害関連死	—	28～57人	
全壊焼失棟数	973棟	1,617棟	
半壊棟数	4,604棟	8,189棟	
電力（停電）	1,779軒	1,029軒	
断水	2,882人	10,899人	
情報通信（不通）	1,145回線	316回線	
避難者数（避難所）	5,842人	7,063人	
（避難所外）	3,187人	4,514人	

4 今後の防災施策への反映

- (1) 本市における南海トラフ地震の被害想定は、総じて下方修正されています。
しかし、南海トラフ地震では、関係機関、他自治体、ボランティア等の応援は、太平洋岸の自治体への重点配備が見込まれることから、本市としては、なお一層災害対応力の向上に努めます。
- (2) 対して、安芸灘～伊予灘～豊後水道地震、安芸灘断層地震の被害想定は、上方修正されています。これらの地震も見据えた備蓄の充実に努めます。
- (3) 防災教育に関しては、速やかな避難を実現する「避難の呼びかけ体制」に加えて、災害関連死を防ぐため、避難生活の環境改善に資する「避難所の機能・運営」への理解増進を図ります。